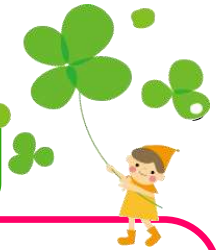


がつ か て い きょういくげっかんもくひょう  
**3月の家庭教育月間目標**



**はなしをしっかりときこう!**

普段、家庭で子どもと話をしていますか？保護者の皆さんは、仕事や家事に忙しい毎日をご  
 されているとおもいます。子どもと話したくても話せないという方も多いとおもいます。

でも少しだけ時間をとって、子どもの話に耳を傾けてください。子どもは親（保護者）と話を  
 することが大好きです。学校や園でのこと、友達のこと、好きなものこと・・・、話したいこと  
 がいっぱいあります。今日は忙しい手を少しだけ止めて、子どもの話を聴きませんか。

**話を聴く時のコツ**

① 手をとめて聴く

子どもが話しかけてきたら、手をとめて聴  
 きましょう。スマホを見ながらなどはやめま  
 しょう。

② 話の腰を折らずに聴く

子どもが話している時は、最後まで聴きま  
 しょう。

③ うなずいたり、相づちを打ったりする

子どもは、聴いてもらっているという  
 安心感をもてます。

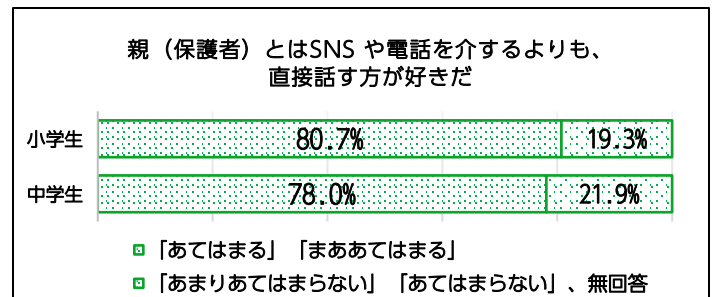
④ 子どもの話を否定しない

話している内容が、親（保護者）の意見と違  
 っても否定せずに聴きましょう。



子どもの話をしっかりと聴いて、子どもが聴いて  
 もらっているという**実感**を大切にしましょう。

ある調査によると、日本の小学生の18.0%、中学生の  
 25.1%が「SNSを利用して親（保護者）とコミュニケーションを  
 よくしている」と回答し、親子の対話でSNSが活用されている  
 ことがわかります。しかし、同じ調査で、「親（保護者）とは SNS  
 や電話を介するよりも、直接話す方が好きだ」と答えた小中  
 学生は約80%に上りました。SNS などもうまく活用しながら、  
 向き合って話す時間はとりたいものです。



参考 国立青少年教育振興機構  
 「インターネット社会の親子関係に関する意識調査報告書(H30.7)」

話をすることは親子の大切なコミュニケーションの一つです。時間はほんの少しでも構いません。話を  
 きちんと聴いてもらうことで、子どもは、大人との信頼関係を深め、自分がかげがえのない存在であるとい  
 う意識を育てていきます。大人との信頼関係ができれば、やがて思春期になって、口数が少なくなっても、  
 家庭を大切な心の拠り所として、自立への一歩を踏み出していくでしょう。

子どもが何でも話してくれる時間は、そんなに長くはありません。保護者の皆さん、忙しく  
 がんばっておられる毎日ですが、今日は少しだけ時間を作って、子どもとの会話を楽しみませんか。

